

鹿児島市セーフコミュニティ 交通安全分野モデル地区の取組 ～吉野校区～



発表者： 吉野校区安心安全ネットワーク会議
会長 永山恵子

吉野校区がセーフコミュニティに取り組んだきっかけ

平成22年 危険箇所把握のため
地域住民にアンケート調査を実施

道路拡幅を...

結果

歩道を
設置して...

交通安全要望多数

吉野小校区って危ないの!?

信号機が
ほしい

子どもたちが危険にさらされている現実!

- ・交通量が多い
- ・道路が狭い など

セーフコミュニティ
モデル地区として

取組を始めるにあたり

既存の組織を活用

- ネットワーク会議や防犯パトロール隊など、今ある団体間の連携を強化。
(ネットワーク会議の構成団体を追加22団体⇒34団体に。
お達者クラブ、幼稚園、保育園を追加)

無理なく継続

- 地域のイベント、行事と同時開催するなど、無理なく継続

地域みんなで行く

- みんなで協力、役割分担

鹿児島市交通安全分野 目標

自動車による交通事故減少

高齢者の交通事故減少

子ども(中学生以下)の交通事故減少

1. 自動車運転者を対象とした取組

- ・ シートベルト着用の啓発活動
- ・ 企業等への交通安全講習等

拡充

新規

2013年度
実施 1回、参加 572人
2014年度
実施 5回、参加 224人
2015年度
実施 2回、参加 108人

事業所の職員を対象に交通安全教室を実施



トラックに乗車して死角を確認



教習車による安全運転講習

保護者や小中学校の教員を対象に、飲酒運転体験を伴う交通安全教室（ナイトスクール）を実施



2. 高齢者を対象とした取組

拡充

- ・ シートベルト着用の啓発活動
- ・ 高齢運転者に対する安全運転講習等
- ・ 参加・体験型の交通安全教室等
- ・ 夜光反射材の着用啓発

2013年度
実施 5回、参加 232人
2014年度
実施 5回、参加 157人
2015年度
実施 2回、参加 130人

身体機能低下の
影響を認識!



防犯教室に交通安全教室を追加

高齢者疑似体験セットによる道路横断体験



夜光反射材の効用体験

お達者クラブの活動に交通安全教室を追加



組合せゲーム



ドライビングシミュレータによる講習

3 子どもを対象にした取組

- ・ 保護者等も含めた参加・
体験型の交通安全教育等

拡充

2013年度 実施2回、参加248人
2014年度 実施1回、参加 79人
2015年度 実施2回、参加179人

年齢に応じた
教育が必要！

防犯教育に交通安全教育を追加



①横断実技（横断歩道の正しい横断方法）

子どもと一緒に保護者や教員も参加



②自転車実技
（交通ルールや安全な乗車方法）

4 交通安全マップの作成

新規

モデル地区関係団体等が協働し、危険箇所を検討

吉野小校区交通安全マップ

吉野小校区は交通量が多く、道幅が狭いうえ、歩道が少ない地域です。このマップを活用して危険な場所を把握し、交通安全に努めましょう！



作成した交通安全マップ（6,000部作成）



危険箇所に対する現場診断を実施

交通安全マップを作成し、現場診断を実施しました。

吉野校区に
おける



セーフコミュニティによる変化と気づき



地域住民、関係団体、
事業所等で活動共有、
協力体制充実



ネットワー
ク会議構成
団体 増

安心安全な
まちづくり

問題意識
の向上・共
有



交通安全対策の
充実



～世界基準の安心安全都市を目指して～



みんなで作るセーフコミュニティかごしま